

令和 7 年度地方独立行政法人名張市立病院
業務実績に係る評価（案）

令和 8 年 7 月
名張市

1. 年度評価の考え方

名張市長（以下「市長」という。）は、地方独立行政法人法（平成 15 年法律第 118 号。以下「法」という。）第 28 条第 1 項及び第 3 項の規定により、地方独立行政法人名張市立病院（以下「法人」という。）の令和 7 年度に係る業務実績についての評価を行った。

評価にあたり、法人から提出された報告書をもとに、法人へのヒアリングを行い、進捗状況を確認し、地方独立行政法人名張市立病院の業務実績に関する評価基本方針に基づき評価を行った。

（１） 評価の基本方針について

市長が実施する法人の評価は、以下の方針に基づき行った。

- ① 評価は、法人が中期目標を達成するために、法人の質的向上及び業務運営の改善及び効率化を進め、財政内容改善に資することを目的として行うものとする。
- ② 評価を通して、中期目標・中期計画の達成状況や取組状況を市民等に分かりやすく示すものとする。
- ③ 評価を行うに当たり、法第 28 条第 4 項及び地方独立行政法人名張市立病院評価委員会条例（令和 6 年名張市条例第 6 号）第 2 条第 1 項第 2 号の規定により、地方独立行政法人名張市立病院評価委員会（以下「評価委員会」という。）の意見を聴取する。
- ④ 評価は、年度計画及び中期計画の実施状況を確認及び分析し、法人の業務運営等について総合的に判断して行うものとする。
- ⑤ 年度計画及び中期計画を実現するために、法人として特色ある取組や様々な工夫を行った場合は積極的に評価することとし、単に実績数値にとられないものとする。
- ⑥ 評価方法については、法人を取り巻く環境変化などを踏まえ、柔軟に対応するとともに、必要に応じて見直しを行うものとする。

（２） 年度評価の方法について

市長は、法人の自己評価を検証し、年度計画に掲げた中項目及び大項目ごとの達成状況について、次の基準により評価を行った。また、当該事業年度における業務の実績全体について記述式による評価を行った。

評 価 基 準	評価	判 断 基 準
	5	計画を大きく上回っている
	4	計画を上回っている
	3	計画をほぼ予定通りに実施している
	2	計画を下回っている
	1	計画を大きく下回っており改善が必要である

2. 全体評価結果について

令和7年10月1日から地方独立行政法人へと運営形態を変更し、これまでの事業を承継しつつ、地方独立行政法人の特長である柔軟性や迅速性を活用し、地域で持続的かつ安定的に医療を提供がなされている。中期計画に達成すべき目標や取組を定め、令和7年度年度計画では組織体制の構築と課題に注力し、目標達成に向けた取組を実践している。

市立病院の大きな課題である看護師等の人材確保に向けた取組をはじめ、物価高騰、人件費高騰に伴う医療を取り巻く厳しい環境の中でスタートとなっている。経営状況はすぐに改善できるという状況ではないものの、地域に必要な医療を最大限提供できるように取り組み、公立病院として地域全体での持続可能な地域医療提供体制の確保に努めていると全体的に評価した。

(評価結果)

項 目	中項目評価			大項目評価		
	最終評価	市評価	自己評価	最終評価	市評価	自己評価
大項目 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置						
中項目 1 地域に必要な二次医療提供体制の確保		4	4		4	4
2 医療水準の向上		4	4			
3 患者サービスの一層の向上		3	3			
大項目 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置						
中項目 1 地方独立行政法人の内部統制		3	3		3	3
2 効率的かつ効果的な業務運営		3	4			
大項目 第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置						
中項目 1 収支の改善		2	3		2	3
大項目 第5 その他業務運営に関する重要事項に係る目標を達成するためにとるべき措置						
中項目 1 地域の医療水準向上への貢献		4	4		4	4
2 市及び県の施策への協力		3	3			

3. 大項目・中項目の総括と評価結果

大項目 第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

- (1)評価結果 「評価4 年度計画を上回っている」
- (2)判断理由 目標指標に届かない項目もあったものの、地域の二次救急医療機関としての役割を果たすために、課題に対し積極的に取り組んだことを評価し、3項目ある中項目のうち2項目を評価4とし、総じて大項目に係る評価を評価4とした。

(小項目別評価の集計結果)

中 項 目 名 称	市評価	法人 自己評価	小項目数	法人小項目別評価									
				取 組					目標指標				
				5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1 地域に必要な二次医療提供体制の確保	4	4	5	1	3	1				2	3		
2 医療水準の向上	4	4	3		3						1		
3 患者サービスの一層の向上	3	3	5			4	1			1	1	2	
合 計			13	1	6	5	1			3	5	2	

中項目の評価判断の主な理由

- 1 地域に必要な二次医療提供体制の確保
- ・看護師不足による病床制限をする中でも、院長直轄の救急センターを新設しスタッフを充足し、「断らない救急」に取り組んだ結果、救急応需率が目標値を上回った。
 - ・年度計画に掲げる「がん診療の充実」の取組について、令和7年度は「がん早期発見に向けて、新たな検診実施を検討する」としていたところ、年度内にすい臓がん検診を開始し、検査や治療件数など目標値を大きく上回ったことや、令和8年度からの乳腺外科外来の開設及び胃がん検診の開始について体制整備したことを評価する。

- ・地域医療連携部の再編や名賀医師会との診療体制に関する情報共有など、地域の医療機関との連携を強化するとともに、消化器内科医師を確保する等の充実を図った結果、内視鏡による検査・治療の件数が目標値を上回ることとなった。
- ・災害拠点病院としての使命をもって、DMA T 隊員の養成や訓練の実施に取り組み、目標を上回る資格者を養成した。

2 医療水準の向上

- ・看護師確保において、目標値には届かなかったが、新たな採用制度を設け、確実に採用に繋げている。必要な看護師を確保するため、採用を促進するとともに勤務環境の改善等の離職防止策に引き続き、取り組んでいただきたい。
- ・年度目標に定める費用対効果の検証を行うなど、体制整備を進めているが、設備投資計画が未設定であり、今後、計画的に予算執行を行うため確実に取り組んでいただきたい。
- ・医療安全管理体制のマニュアルの見直しや研修訓練の実施など、医療安全管理体制の強化に取り組んでいる。引き続き、インシデントの分析・再発防止に取り組んでいただきたい。

3 患者サービスの一層の向上

- ・患者相談体制の充実については、年度計画の通り地域医療連携部に患者サポート窓口を設置し、専門職の連携等により患者及び家族への支援体制の強化を図った。
- ・セカンドオピニオンに関する患者向けのリーフレットや新たなクリニカルパス（診療計画表）などについて、引き続き準備・検討を進めるとともに、医療の質の可視化について、早期の実現を期待する。
- ・外来患者、入院患者とも満足度が目標値を下回っている。特に入院患者については、令和6年度実績よりも低い結果となっている。接遇研修が実施されていないが、患者サービス向上のため確実に実施し、患者満足度を高める対応を心掛けていただきたい。また、患者からの意見を分析し、院内環境の改善につなげていただくことを期待する。

目標指標		R6 実績	R7 目標	R7 実績	達成率
(4)	外来患者満足度	68.0%	71.0%	67.0%	94.4%
	入院患者満足度	81.3%	83.0%	70.2%	84.6%

- ・市民の地域医療に対する不安を払拭するべく、分かりやすい情報発信や市立病院の良さを伝える広報が必要不可欠である。計画通り令和8年度から発行できるよう、引き続き取り組んでいただきたい。
- ・令和7年度は「ザ☆なつまつり」やジュニアメディカルラリーを開催し、市民に名張市立病院の取組を知っていただくきっかけとなった。今後も引き続き開催するとともに、新たに市民参加型のイベントを企画するなど、名張市立病院の取組を周知していただきたい。

大項目 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

(1)評価結果 「評価3 年度計画をほぼ予定通りに実施している」

(2)判断理由 2項目ある中項目のうち、全てが3評価であること、法人の自己評価、目標指標の達成率など総じて大項目に係る評価を評価3とした。

(小項目別評価の集計結果)

中 項 目 名 称	市評価	法人 自己評価	小項 目数	法人小項目別評価									
				取 組					目 標 指 標				
				5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1 地方独立行政法人の内部統制	3	3	4		2	1	1						
2 効率的かつ効果的な業務運営	3	4	6		4	2					2		
合 計			10		6	3	1				2		

中項目の評価判断の主な理由

1 地方独立行政法人の内部統制

- ・法人化に伴い、組織を刷新し、定款や理事会規程に基づき運営をスタートし、理事長を中心に経営や業務の効率化、法令等の順守について議論がされている。
- ・医療機関が保有する個人情報、特に保護が厳格な要配慮個人情報である。医療機関として、サイバー攻撃対策や情報セキュリティポリシーの策定は必須であり急務であるので、早急に進めていただきたい。
- ・年度計画に定めた就業規則や職員倫理規程、ハラスメント防止規程の整備を実施し、ハラスメント相談窓口についても多様な相談方法を用意し、相談しやすい工夫がされるなど職員が働きやすい環境整備をしている。
- ・若手職員からの提案の仕組みなどは、組織活性化のために有用であり、職員からの自発的、積極的な提案により改革検討する体制の整備が進められている。
- ・表彰制度については、候補者の審査方法に工夫を凝らすことにより、関わりの少ない職員間の交流やそれぞれの取組を知るきっかけとなるなど、業務の評価だけでない効果を生んでいる。

2 効率的かつ効果的な業務運営

- ・医療技術部、地域医療連携部、透析センター、救急センターなど限られた人員の中で、情報伝達や効率化を図った組織再編と体制が整備された。
- ・令和8年度からの実施に向けて人事評価制度等の仕組みづくりに取り組んでいるが、目標として掲げられている業務連動手当の検討が開始されていない。
- ・夜勤専従や日勤専従など法人化に伴うフレキシブルで多様な働き方を制度化し、働きやすい環境を構築している。今後も職員の有休取得率の向上や子育てと仕事の両立を支援する制度の充実を図っていただきたい。
- ・福利厚生受診や看護師の院内託児所利用の無償化や警報発令時の一時預かり等、職員の利便性や安心につながる取組が進められている。
- ・法人化に伴い、会計処理や契約事務などの手続きが迅速にできるようになっている良さを生かしながらも、引き続き適切な予算執行をしてほしい。
- ・令和7年度の看護学校の入学者が、目標値を大きく下回っている。

大項目 第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

(1)評価結果 「評価2 年度計画を下回っている」

(2)判断理由 法人の自己評価は3評価であるものの、3項目の小項目に係る目標指標の多くが目標値を下回っているため、評価2とした。

(小項目別評価の集計結果)

中 項 目 名 称	市評価	法人 自己評価	小項 目数	法人小項目別評価									
				取 組					目 標 指 標				
				5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1 収支の改善	2	3	3			3						3	
合 計			3			3						3	

中項目の評価判断の主な理由

1 収支の改善

- ・ 経常収支比率、修正医業収支比率も目標値を下回っている。純損失は中期計画値とも大きく乖離している。経営改善に向けた取組を進めていただきたい。
- ・ 年度計画に定める各取組は進められているところであるが、病床稼働率、外来患者数ともに減少している。特に、外来患者数の減少原因の分析や対策の検討について、早急に取り組んでいただきたい。
- ・ デジタル機器の活用による業務効率化については、着実に進められているところであるが、支出管理等の改善についても早急に進めていただきたい。
- ・ 令和7年度には目標指標の多くが達成できていないが、目標達成に向けて、現在進めている取組の更なる促進を図り、財務内容が改善されることに期待する。

目標指標		R6 実績	R7 目標	R7 実績	達成率
小項目 (1)	入院収益	2,976 百万円	1,385 百万円	1386 百万円	100.1%
	病床稼働率	67.0%	59.0%	51.7%	87.6%
	入院診療単価	60,846	64,767	73,593	113.6%
	外来収益	1,038 百万円	546 百万円	438 百万円	80.2%
	1 日平均外来患者数	276	284	250	88.0%
	外来診療単価	15,466	15,802	14,872	94.1%
	レセプト返戻率 【マイナス指標】	0.5%	0.4%	0.7%	57.1%
	(査定率) 【マイナス指標】	0.37%	0.32%	0.45%	71.1%

大項目 第5 その他業務運営に関する重要事項に係る目標を達成するためにとるべき措置

(1)評価結果 「評価4 年度計画を上回っている」

(2)判断理由 小項目、中項目の評価、並びに法人の自己評価、目標指標の達成率など総じて大項目に係る評価を評価4とした。

(小項目別評価の集計結果)

中項目名称	市評価	法人 自己評価	小項目数	法人小項目別評価									
				取組					目標指標				
				5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1 地域の医療水準向上への貢献	4	4	2	1		1				1			
2 市及び県の施策への協力	3	3	2			2							
合 計			4	1		3				1			

中項目の評価判断の主な理由

1 地域の医療水準向上への貢献

- ・年度目標では令和8年度以降の指定を目指すとしていた基幹型臨床研修病院の指定について、令和7年度に指定を受け、積極的に医療従事者の養成を行っている。
- ・看護師や医療技術職の養成に積極的に取り組み、目標より多くの実習生の受け入れを行った。

2 市及び県の施策への協力

- ・市の総合計画において、「地域の医療をささえる」という法人の目標達成が、市の総合計画の達成に貢献することができ、さまざまな面で連携と協力体制にある。